

**SHARP**

Be Original.

# 環境取り組みのご紹介

シャープディスプレイテクノロジー株式会社  
亀山事業所



2023年版

# 亀山事業所 環境取り組みの ご紹介 2023

## 目次

目次・編集方針	・・・ 1
<b>戦略</b>	
事業紹介	・・・ 2
環境管理経営責任者のご挨拶	・・・ 3
事業所の環境方針	・・・ 4
環境ビジョン	・・・ 5
～SHARP Eco Vision2050～	
事業所の環境活動と 「持続可能な開発目標（SDGs）」	
<b>活動-環境方針に基づいた取り組み</b>	
2022年度取り組み内容と結果	・・・ 6
地球温暖化防止の取り組み	・・・ 7
電力使用量削減の施策	・・・ 8
廃棄物排出量削減の取り組み	・・・ 9
廃棄物排出量削減の施策	・・・ 10
化学物質の使用量削減と適正管理	・・・ 11
資源の有効活用(工業用水使用量削減)	・・・ 12
環境配慮型商品の創出	・・・ 13
環境マネジメントシステムの推進	・・・ 15
環境マネジメントシステムの継続的改善	・・・ 16
従業員への教育取り組み	・・・ 17
汚染防止のための緊急時訓練	・・・ 18
生物多様性の保全取り組み	・・・ 19
地域とのコミュニケーション	・・・ 21
環境法規制順守の取り組み	・・・ 23
環境法規制順守データ	・・・ 25
<b>ご紹介</b>	
亀山市長からのメッセージ	・・・ 29
亀山市のご紹介	・・・ 30
<b>資料</b>	
事業所マップ	・・・ 31
インプット・アウトプット	・・・ 33
亀山事業所のあゆみ	・・・ 34

## 編集方針

### 発行目的

『環境取り組みのご紹介』は2004年操業開始の年から発行しています。  
本冊子は、環境に関する詳細情報を地域住民を含め、すべてのステークホルダーの皆さまに提供することを目的に発行しています。

### 対象範囲

#### 【亀山事業所】

シャープディスプレイテクノロジー株式会社  
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社  
太陽日酸株式会社  
コンパスグループ・ジャパン株式会社

### 対象期間

2022年4月～2023年3月  
(一部過去及び2023年4月以降の活動・情報も掲載)

### 発行

2023年12月

### 作成部署

シャープディスプレイテクノロジー株式会社  
経営管理本部  
人事総務統轄部  
亀山U T Tサービス部  
TEL：0595-84-6132  
FAX：0595-84-1729

### 取り組み実績の根拠

#### CO<sub>2</sub>換算係数

- ・電気：0.410 (t-CO<sub>2</sub>/MWh)
- ・都市ガス：2.080 (t-CO<sub>2</sub>/km<sup>3</sup>)
- ・蒸気：0.035 (t-CO<sub>2</sub>/t)
- ・空調冷水：0.018 (t-CO<sub>2</sub>/GJ)

# 事業紹介

シャープディスプレイテクノロジー株式会社は、シャープ株式会社のディスプレイデバイス事業の分社化により、2020年10月1日付けで事業を開始しました。スマートフォン、タブレット、パソコン、車載機器、大型テレビ等、小型から大型まで様々な用途の最先端ディスプレイを開発・生産・販売しており、グローバルユーザーの様々な需要にお応えしています。また、同じく2020年10月に発足したシャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社白山工場と共に、今後も新しい分野に挑戦し続け、更なる事業拡大を図っていきます。

## 拠点の概要

会社名：シャープディスプレイテクノロジー株式会社 亀山事業所

所在地：三重県亀山市白木町幸川464番

代表者：代表取締役社長 王建二

従業員：1,960名（2023年4月1日現在）

操業開始：2004年1月

生産品目：液晶ディスプレイ・モジュール



会社名：シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社 白山工場

所在地：石川県白山市竹松町2480-1

代表者：代表取締役社長 川合勝博

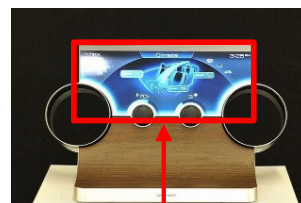
従業員：290名（2023年4月1日現在）

量産開始：2021年2月

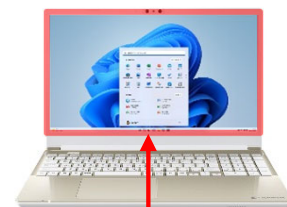
生産品目：液晶ディスプレイ・モジュール



スマートフォンの画面



車載用パネル



ノートパソコンの画面



## 環境管理経営責任者のご挨拶

日頃より、シャープディスプレイテクノロジー株式会社 亀山事業所の事業活動に対し、地域の皆様のご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

シャープは、1992年に定めた環境基本理念「誠意と創意をもって『人と地球にやさしい企業』に徹する」のもと、2019年に長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050（P.5ご参照）」を策定しました。

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、シャープグループの長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」のもと、「気候変動」「資源循環」「安全・安心」の3つの分野で社会課題の解決と持続的な企業価値の向上に取り組んでおります。

主な取り組みとして、製造工程で使われる水の100%リサイクルや、太陽電池・コージェネレーションシステムなどの導入によるエネルギー利用の最適化、廃棄物の削減・再資源化などによる環境負荷の低減を進めると共に、IGZO液晶ディスプレイに代表される省エネルギー性能に優れた製品を開発・生産しております。

また、地域との連携を図りながら「地域目線」を大切にして環境保全活動や地域貢献活動をおこなっております。

本冊子は、2022年度に実施した環境取り組みを分かり易く皆様にご紹介するために作成いたしました。今後も地域の皆様から信頼され、評価していただけるよう事業活動を進めてまいりますので、ご理解を賜ると共に、率直なご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

引き続き、変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

シャープディスプレイテクノロジー株式会社  
取締役 副社長  
環境管理経営責任者 長 貴



# 事業所の環境方針

## 環境管理責任者からのご挨拶

次の環境方針の下、温室効果ガスの排出量抑制や水のリサイクル、廃棄物の発生抑制を推進し、今日まで環境に配慮した事業活動に努めてまいりました。

私たちはこれからもその考えを大切にし、より環境社会に貢献すべく様々な活動に取り組むと共に、地域の方との交流を深めてまいります。



【環境管理責任者】  
亀山U T Tサービス部  
部長 田井中 幸作

## 事業所の環境方針

ディスプレイ・パネル開発・生産拠点として社会に貢献する事業活動にあたり、シャープの環境基本理念『誠意と創意をもって「人と地球にやさしい企業」に徹する』に基づき、環境関連法規制・地域との環境保全協定及びお取引先を含むその他関係者との約束事項を遵守すると共に、環境汚染の予防に努め、以下の取り組みを積極的に推進し、シャープ長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050※」の実現を目指します。

### ◆ 汚染予防の推進に向けた事業活動の展開

- ・地球温暖化防止のための温室効果ガスの排出抑制
- ・産業廃棄物及び一般廃棄物の発生抑制と再資源化、有価物化の推進
- ・薬液及びガスの使用・排出・移動量管理の徹底と有害化学物質の適正管理
- ・製造工程で使用する工業用水のリサイクルによる資源の有効活用と排水管理の徹底

### ◆ 環境に配慮した商品の創出

- ・消費電力（使用時・待機時）が少ない省エネルギー商品の開発
- ・省資源とリサイクルに配慮した商品の開発
- ・人体や地球に悪影響を与える可能性のある物質を含まないグリーン材料の採用

### ◆ 環境マネジメントシステムの推進

- ・事業環境における『環境マネジメントシステム』の継続的改善を進め、その機能をより充実させ、環境コンプライアンスを確実にすると共に、環境パフォーマンスを向上させるための継続的な改善を推進する。

### ◆ 従業員全員への環境方針の周知徹底と社外への情報開示

- ・環境方針は、工場内への掲示と方針書の配布により全従業員への周知徹底を図り、絶えず認識を新たにして取り組むと共に、社外の利害関係者への開示も行なう。

### ◆ 環境保護及び地域とのコミュニケーションの推進

- ・生物多様性及び生態系の保護や地域貢献活動を積極的に推進し、グリーンマインドの醸成を図ると共に、地域とのコミュニケーションに努める。

環境方針を実現するために、環境目的／環境目標を定め、定期的に見直しすると共に、環境マネジメントシステムの適切な運用と継続的な改善を行い、全員参加で環境保全活動を推進します。

※SHARP Eco Vision 2050

シャープが2050年に向け、世界中に「クリーンなエネルギー」を提供するとともに、企業活動で発生する温室効果ガスや廃棄物などによる「地球への環境負荷」の最小化を図ることで「持続可能な地球環境」の実現に挑戦するもの。

事業活動を通してシャープ長期環境ビジョンの実現と、SDGsの達成に向け取り組んでいます。

環境ビジョン～SHARP Eco Vision2050～

シャープは、1992年に定めた環境基本理念「誠意と創意をもって『人と地球にやさしい企業』に徹する」のもと、2019年に長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」を策定しました。「気候変動」「資源循環」「安全・安心」の3つの分野で2050年の長期目標を設定し、持続可能な地球環境の実現を目指します。

●長期環境目標

⊕ 気候変動

電気を使う製品を作る会社だからこそ、電気の使用で生じる環境負荷に責任を持たなければならない。

目標

- ✓ サプライチェーン全体で消費するエネルギーを上回るクリーンエネルギーを創出
- ✓ 自社活動のCO2排出量をネットゼロへ

⊕ 資源循環

限りある資源の中で、全てのステークホルダーに多様な価値をいつまでも提供できるように。

目標

- ✓ 製品への新規採掘資源\*の使用をゼロへ
- ✓ 自社活動による廃棄物の最終処分をゼロへ

⊕ 安全・安心

シャープの企業活動が、人の健康や地球環境・生態系に悪影響を及ぼすことがあってはならない。

目標

- ✓ 化学物質の適正管理で人の健康や地球環境・生態系を守る

\* リサイクルをするにあたり環境配慮面で合理性のないものを除く。

環境活動と持続可能な開発目標 (SDGs)

環境方針による活動と関連するSDGsの17の目標を明確にしました。「環境方針に基づいた取り組み」の各ページに関連するSDGsのアイコンを表示していますので、取り組み内容と併せてご覧ください。

環境方針	関連する目標
◆ 汚染予防の推進に向けた事業活動の展開	3, 6, 7, 11, 12, 13, 15
◆ 環境に配慮した商品の創出	7, 9, 12, 13
◆ 環境マネジメントシステムの推進	12, 17
◆ 従業員全員への環境方針の周知徹底と社外への情報開示	4, 8, 12
◆ 環境保護及び地域とのコミュニケーションの推進	4, 11, 12, 14, 15, 17

## 2022年度取り組み内容と結果

環境方針の重点行動指針の項目毎に、具体的な数値目標を定め取り組んでいます。2022年度は、目標を全て達成することができました。2023年度についても、引き続き環境目標を定め達成できるよう取り組んでいきます。尚、各項目の詳細については、取り組みページを参照下さい。

	環境目標	実績	評価	詳細 用頁
①	<u>地球温暖化防止</u> CO <sub>2</sub> 排出量削減 3,725t以上 	5,447t	達成	7、8
②	<u>廃棄物排出量の削減</u> 廃棄物削減量 1,300t以上 	1,436t	達成	9、10
③	<u>化学物質の使用量削減と適正管理</u> 化学物質使用量原単位削減 3.98kg/m <sup>2</sup> 以下 ガラス1m <sup>2</sup> 当たりのPRTR・VOC使用量削減 	3.95kg/m <sup>2</sup>	達成	11
④	<u>資源の有効活用</u> 工業用水使用量原単位削減 0.23m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> 以下 	0.23m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	達成	12
⑤	<u>環境配慮型商品の創出</u> 環境法規制順守 新規量産機種評価実施率：100% 	100%	達成	13、14
⑥	<u>環境マインドの醸成</u> 環境情報開示（ホームページ掲載） 65件以上 	77件	達成	15～28
	社会貢献活動（地域環境活動など） 28件以上 	37件	達成	

# 地球温暖化防止の取り組み

シャープ環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」の実現に向け、「気候変動」「資源循環」「安全・安心」の分野それぞれに対し、長期的なゴールを定めることで、「消費するエネルギーを上回るクリーンエネルギーの創出」および「企業活動で生じる地球への環境負荷の最小化」に取り組んでいます。

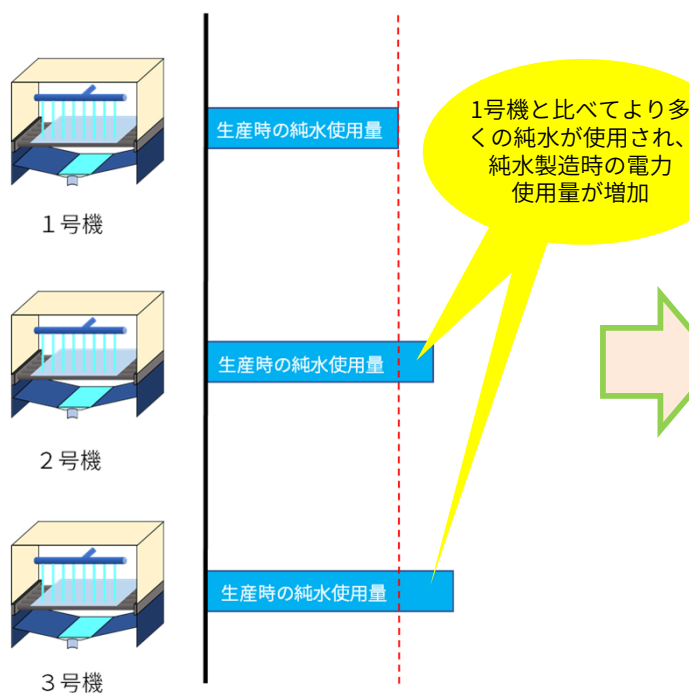
2022年度の目標	2022年度の実績	評価
CO <sub>2</sub> 排出量削減 3,725 t以上	CO <sub>2</sub> 排出量削減 5,447 t	達成

## 同一装置での純水使用量の統一

生産工程で使用した純水は全て回収して不純物を取り除き、再び純水を製造して生産工程で再利用しています。これまでは同じ生産工程であっても装置によって純水の使用量が異なりましたが、各装置の「条件の見直し」や「品質確認」を繰り返し行い、純水の使用量を最も少ない装置に統一しました。このことにより、純水を製造する際の電力使用量を削減し、年間187tのCO<sub>2</sub>を削減しました。

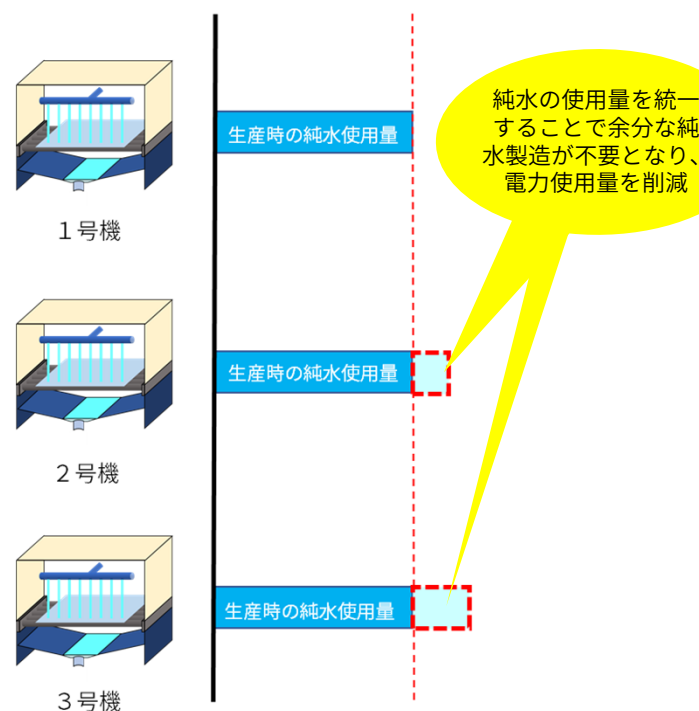
### <改善前>

同じ生産工程でも装置によって純水の使用量が異なる



### <改善後>

純水の使用量が最も少ない装置に統一



CO<sub>2</sub>削減効果は



年間187 t



## 給気エリア見直しによる外調機使用電力の削減

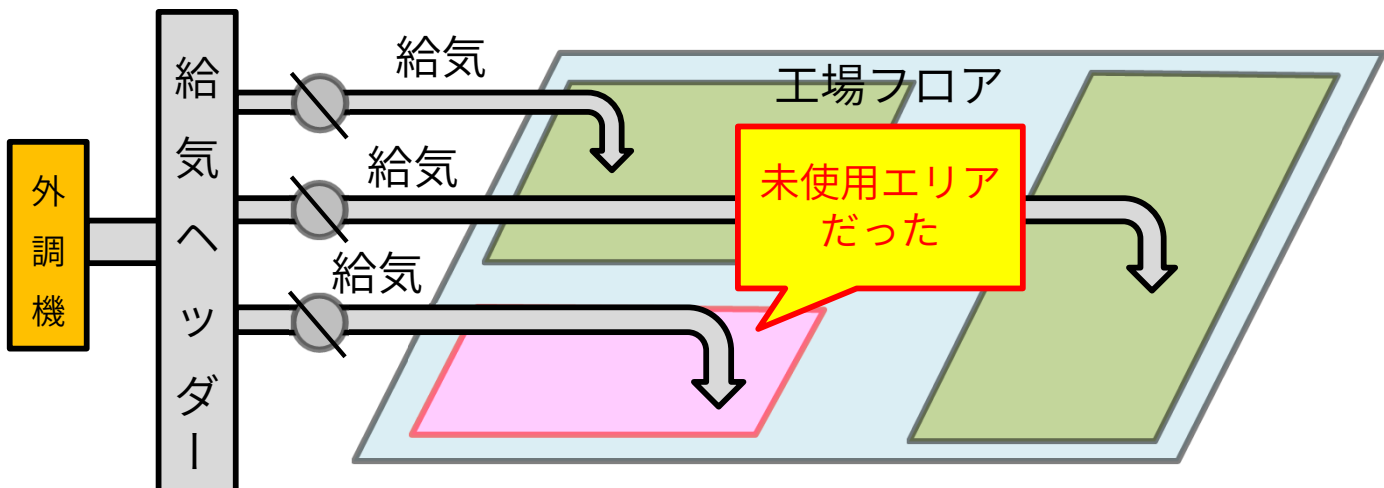
工場内の温湿度を一定に保つため、外気を外調機で処理し、温度や湿度を調整して工場内に給気しています。温湿度の調整には大きな電力を使用するため、給気量の削減は大きな省エネになります。

今回、給気しているエリアを調査したところ、未使用になったエリアに給気を行っていることが判明したため、そのエリアへの給気を停止しました。  
その結果、年間51tのCO<sub>2</sub>を削減できました。

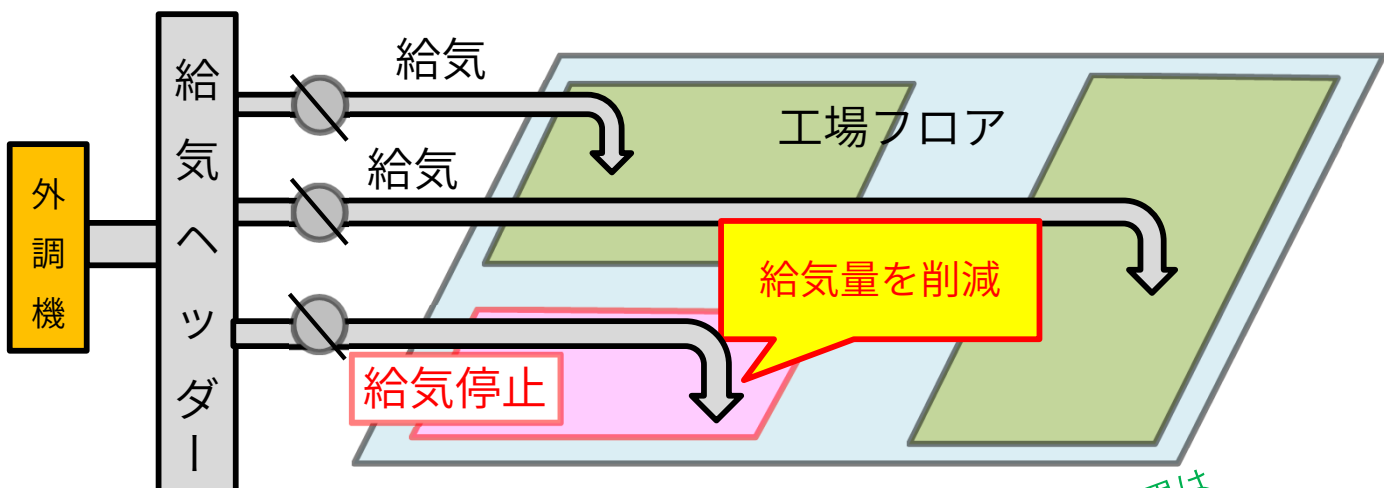


外調機

&lt;改善前&gt;



&lt;改善後&gt;

CO<sub>2</sub>削減効果は

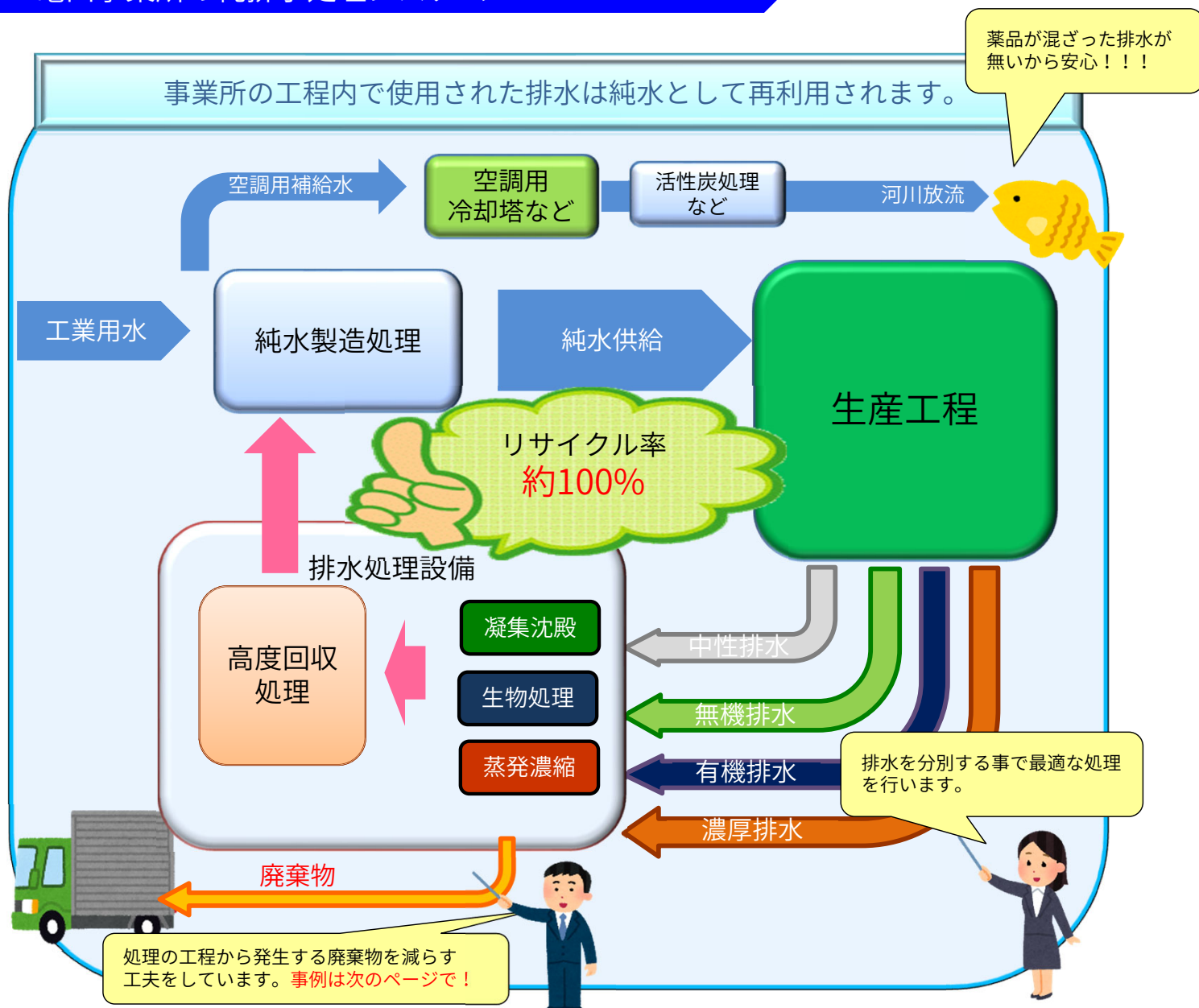
年間51t



廃棄物排出量が年間1,000トンを超える「多量排出事業者」に該当しており、生産エリアまで踏み込んだ施策の実施や、廃棄物の有効活用の提案による有価物化によって廃棄物排出削減を行っております。2022年度に於いても更なる廃棄物の削減と有価物化率UPを目指し、取り組んでいきます。

2022年度の目標	2022年度の実績	評価
廃棄物排出量削減 1,300 t以上	廃棄物排出量削減 1,436 t	達成

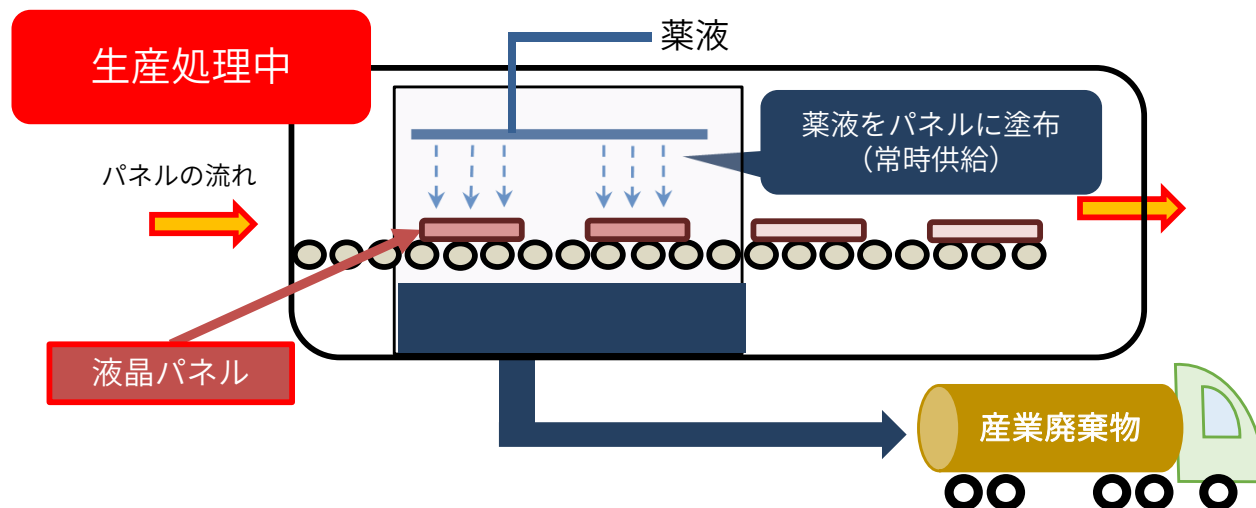
亀山事業所の純排水処理システム



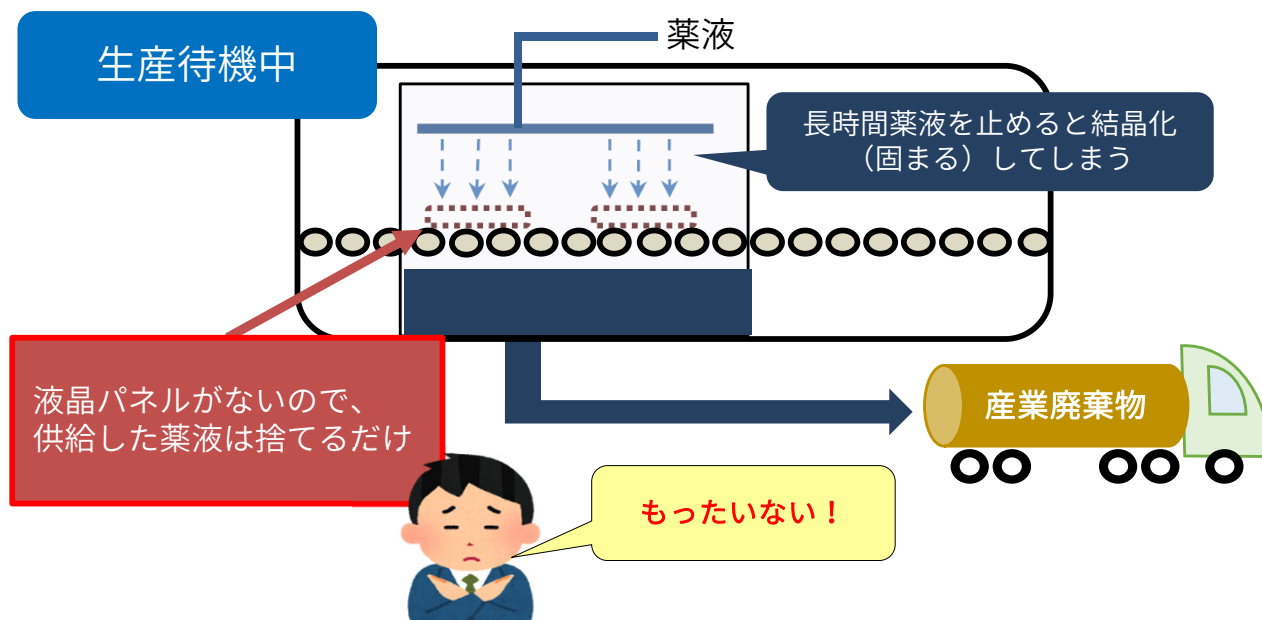


## 取り組み事例 薬液供給時間変更による廃棄物削減

液晶パネルの生産中は連続でパネルが流れる為、薬液を常時供給しています。



また、液晶パネルの生産待機中は、薬液の供給は止めていますが、長時間止めると結晶化して供給出来なくなるので、一定間隔で短時間だけ供給して対応していました。



今まで生産待機中では10分毎に1分薬液を供給して産廃となっていたが、結晶化しないギリギリの時間を見極め、**17分毎に1分供給**へ設定を変更しました。

廃棄物削減効果は  
年間**60** t



## 化学物質の使用量削減と適正管理

生産工程で使用する化学物質の適正管理を徹底しています。新規の化学物質や取り扱う設備の導入時に独自のプロセスアセスメント制度により、厳密な事前審査を実施することで、環境負荷の低減と安全の確保、健康への配慮を行っています。

2022年度の目標	2022年度の実績	評価
化学物質使用量原単位削減 3.98kg/m <sup>2</sup> 以下	化学物質使用量原単位削減 3.95kg/m <sup>2</sup>	達成

## P R T R制度（化学物質排出移動量届出制度）への対応

化学物質がどれだけ環境（大気、河川、土壌）へ排出されたか、あるいはどれだけ事業所外に運び出されたかを事業所毎に把握して国へ報告するもので、データは一般に公開されます。対象物質は8物質です。

（指定物質のうち、取り扱い量が1,000Kgを超える物質が報告の対象となります）

単位：kg

化学物質名	排出量			移動量
	2022年度の内訳			2022年度
	大気へ	河川へ	土壌埋立処分	
亜鉛の水溶性化合物	0	0	0	1,600
2-アミノエタノール	83	0	0	180
インジウム	0	0	0	2,900
銅水溶性塩	0	0	0	6,200
フッ化水素及びその水溶性塩	670	0	0	310,000
ホウ素化合物	28	0	0	2,500
メチルファフタレン	44	0	0	0
モリブデン	0	0	0	120

## 部会による安全対策と使用の抑制を促進

化学物質を取り扱う部門が「薬液部会」「ガス部会」を組織し、毎月適正管理の審議及び安全パトロールを実施しています。また、その結果を事業所の安全衛生健康委員会にて報告し、情報共有を行っています。





## 資源の有効活用（工業用水使用量削減）

使用される水の内、生産に直接使用されるものは、ガラスパネルの洗浄用が大半を占めています。使用された水は、100%リサイクルされているため、事業所内で生産棟と水処理棟を循環しています。これら設備の安定運転のため、日々、維持管理に取り組んでいます。

2022年度の目標	2022年度の実績	評価
工業用水使用量原単位削減 0.23m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> 以下	工業用水使用量原単位削減 0.23m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	達成

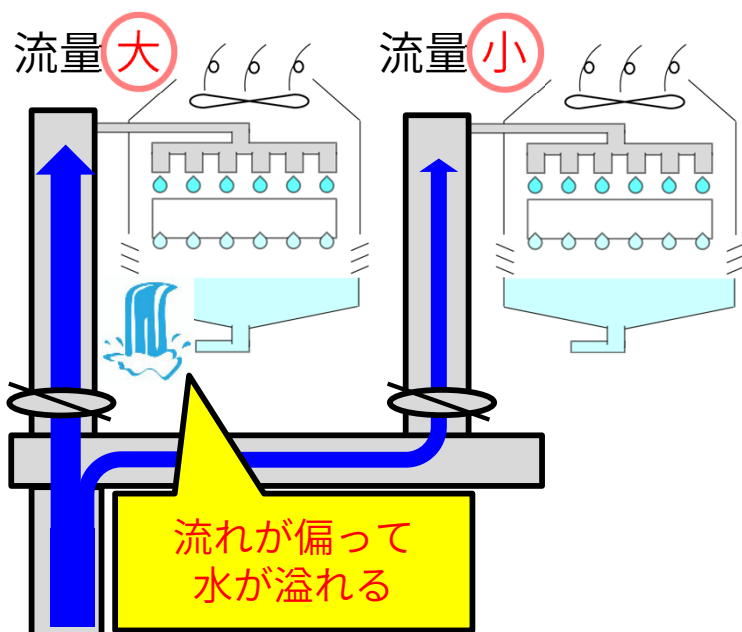
## 冷却水量の偏り対策実施による補給水削減

複数の冷却塔があり、冷凍機で熱を吸収した温水を冷却塔で外気を利用して冷却しています。冷却塔では水量を管理しており、蒸発した水は工水を補給しています。冷却塔に送る水は設置位置の遠近や汚れ具合により流れやすいところと流れにくいところが出来てしまい、流量が偏って冷却塔から水が溢れてしまう問題がありました。

そこで今回、冷却塔に送るバルブを細かく調整することで流量の偏りをなくし、冷却塔から水が溢れないようにしました。その結果、年間44,518m<sup>3</sup>の工水を削減することが出来ました。

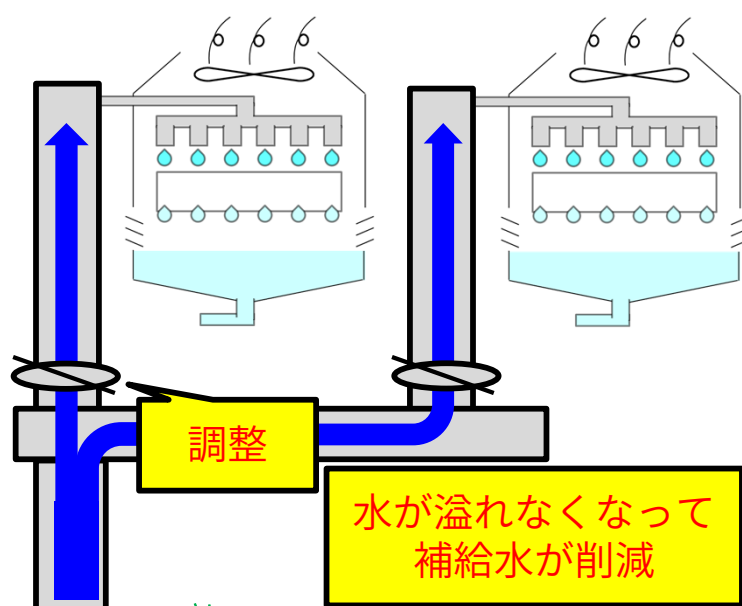
## &lt;改善前&gt;

流量バランスが悪くて水が溢れてしまい、  
工水を多く補給していた



## &lt;改善後&gt;

流量バランス調整し、水が溢れないように  
なった



工業用水  
削減効果は

年間44,518m<sup>3</sup>

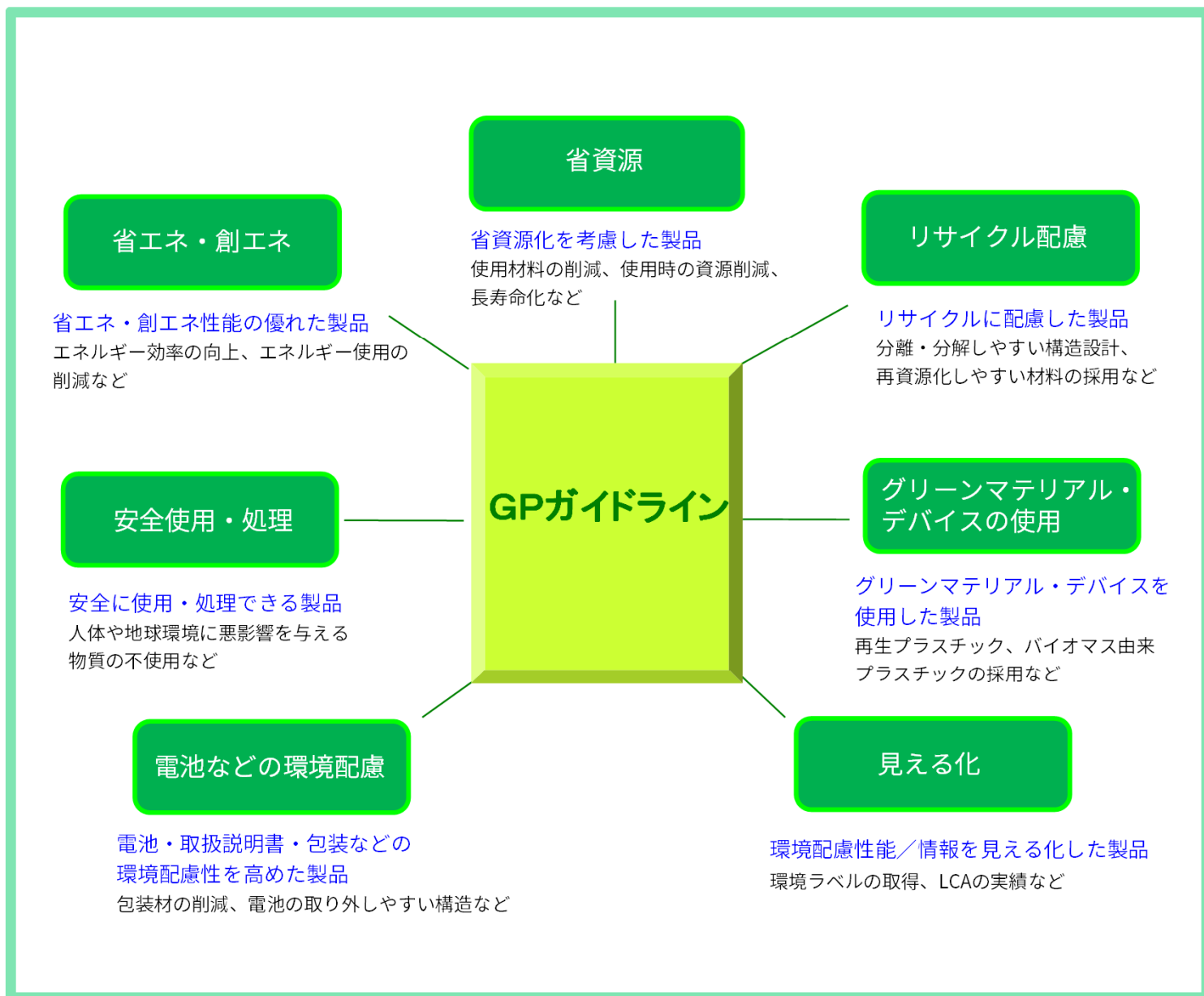
- 環境方針に基づいた取り組み -  
環境配慮型商品の創出



環境に配慮した製品を開発するために、シャープグループでは7つのコンセプトに基づく開発・設計指針をまとめた『グリーンプロダクトガイドライン』を定めています。製造している液晶ディスプレイの開発・設計についても『グリーンプロダクトガイドライン』に従って運用を進めています。

2022年度の目標	2022年度の実績	評価
グリーンデバイスの創出 (環境法規制の順守) 100%	グリーンデバイスの創出 (環境法規制の順守) 100%	達成

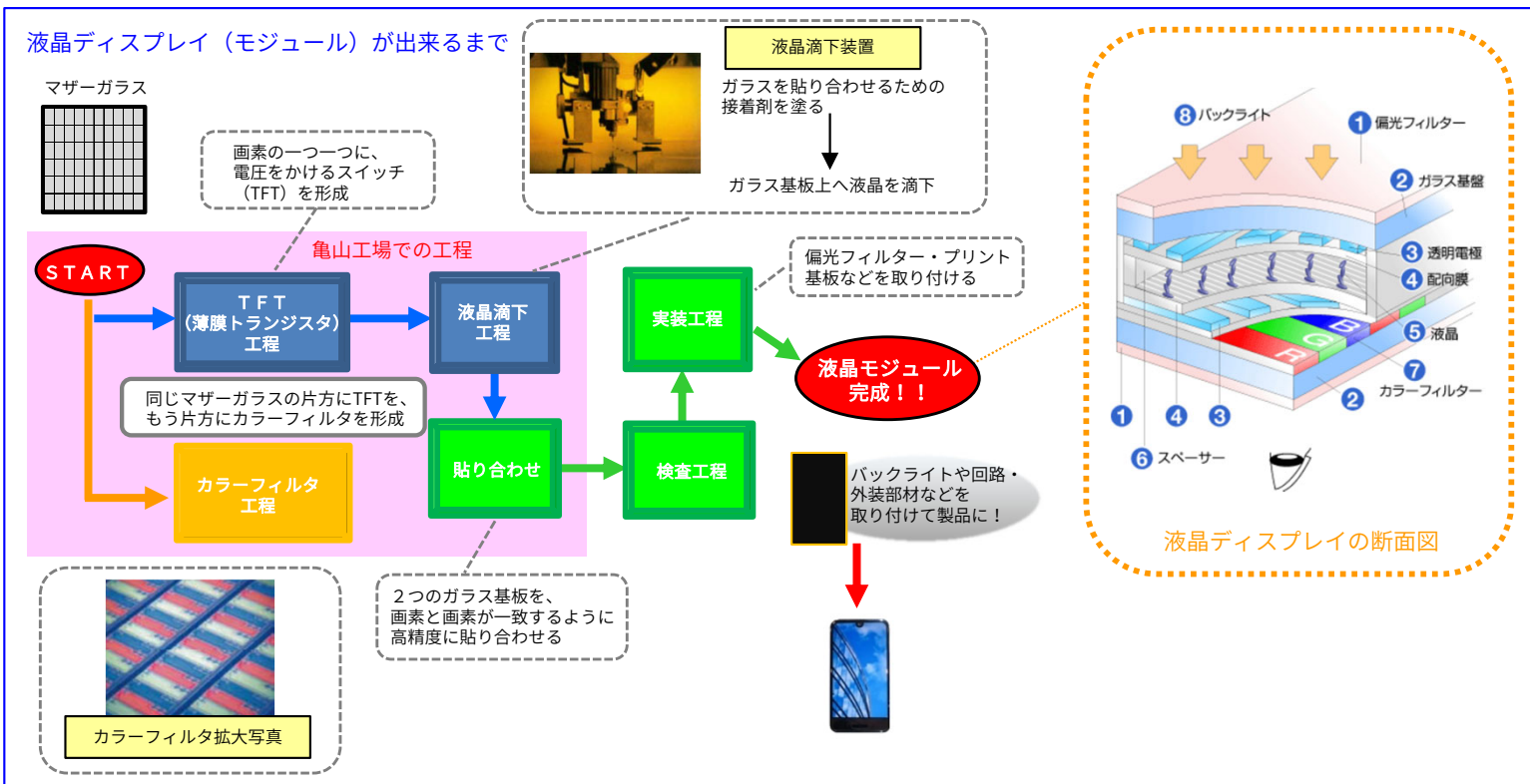
グリーンプロダクトの7つのコンセプト





## 液晶ディスプレイの仕組み

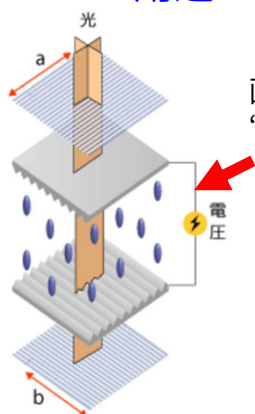
液晶ディスプレイは、液晶やガラスなどがサンドイッチのように層状になっています。



## IGZO (イグゾー) 技術の紹介

IGZOは、2012年3月に当社が世界で初めて量産化に成功した、酸化物半導体です。

### IGZOの用途



画素の中の液晶に電圧をかけるための「スイッチ」の役割をするのが

「薄膜トランジスタ(TFT)」  
(Thin Film Transistor)



4つの元素を組み合わせることで、今まで出来なかったことを可能にする、革新的なテクノロジーです。

\*IGZO液晶ディスプレイは、(株)半導体エネルギー研究所との共同開発により量産化したものです。

これまでその材料としてアモルファスシリコン(a-Si)や低温ポリシリコン(LTPS)が使われてきましたが、

IGZOをTFTの材料とすることでディスプレイの性能が飛躍的に向上しました。

### IGZOの特長

- 1 高精細
- 2 高速駆動
- 3 低消費電力
- 4 デザイン性

優れた自由な形状などの特長を兼ね備えており、スマートフォンやタブレット、パソコンなど、私たちの身近な製品から業務用途まで、様々な場面で活躍しています。

2004年にISO14001第三者認証を取得し、18年間認証を継続しています。  
ISO14001の概念であるPlan（計画）→Do（実施）→Check（評価）→Act（改善）のサイクルを活用し、環境負荷の継続的改善に取り組むと共に、環境パフォーマンスの向上を図り、環境マネジメントシステム\*を推進しています。

## ISO14001：2015

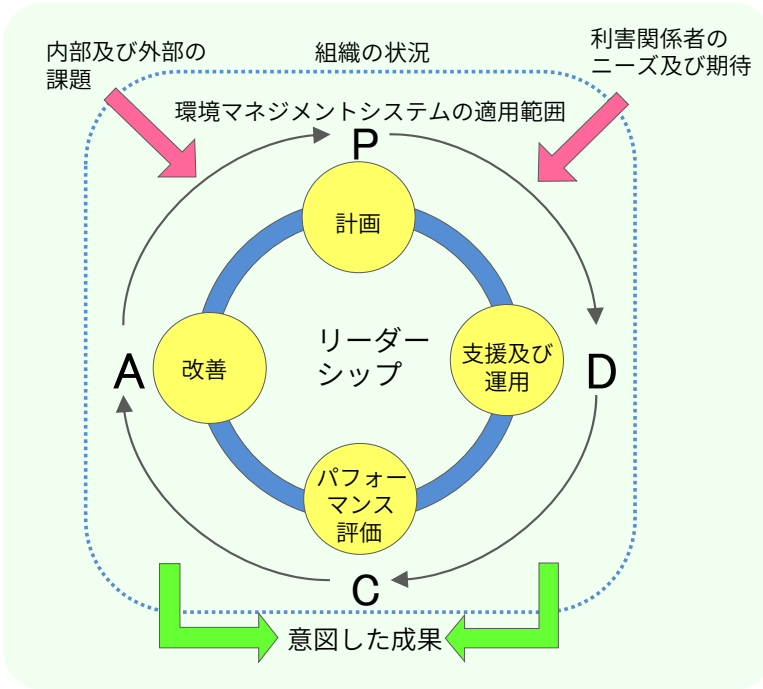


図.PDCAと規格の枠組みとの関係

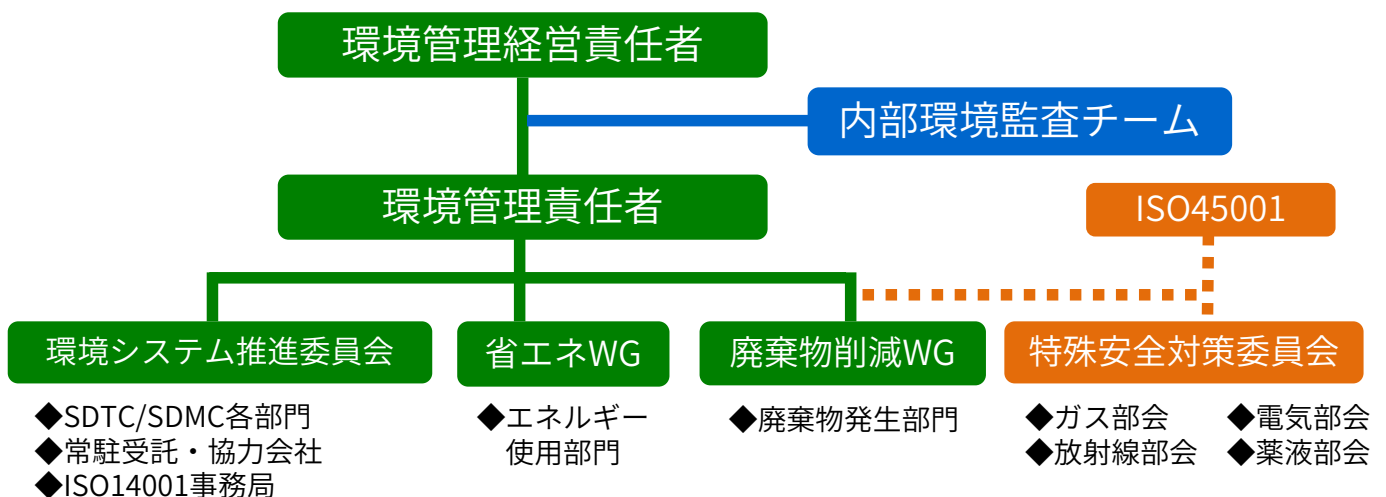
## ISO14001：2015登録証



登録日：2004年10月12日  
有効期限：2025年10月11日

## 環境マネジメント組織体制

環境管理経営責任者をトップに、環境マネジメント組織を構築し、事業所内に常駐する協力会社も含めた環境保全活動を推進しています。  
各部門に環境システム推進委員会をおき、定期的に環境システム推進委員会を開催し、環境対策についての審議と各部門の環境取り組みの進捗状況等を確認しています。







## 内部環境監査

内部環境監査を実施して、環境マネジメントシステムが適切に運用されているか確認しています。2022年度も新型コロナウイルス予防対策を実施し、監査を実施しました。

◎監査実施日：2022年6月27日～7月26日

【規格要求事項別 指摘・観察件数】

実施時期	部門数	結果
2022年度	35部門 (昨年度38部門)	指摘・観察事項12件 (昨年度2件)

規格要事項		観察要件
7.2	力量	6
7.5	文書化した情報	5
8.2	緊急事態への準備及び対応	1
指摘・観察件数 合計		12

## 認証機関による審査

2022年度は、3年毎の更新審査を受審し「合格」の判定をいただきました。尚、審査の結果、指摘のあった3件の「改善の余地」につきましては、改善に向けて取り組みます。

◎審査実施日：2022年8月23日～26日

◎審査機関：株式会社日本環境認証機構

◎審査部門数：34部門（事務局含む）

◎審査結果：認証更新

◎指摘事項：3件の改善の余地  
(レベルアップのための改善提案)

## 改善の余地（審査結果報告書より3件抜粋）

## 4.1組織及びその状況の理解

トップインタビュー、審査、外部の課題として「カーボンニュートラルに関する顧客からの問い合わせが多いことが課題」とあったが、組織の状況を踏まえた計画策定の外部の課題としてとりあげられていませんでした。組織の課題について、適切に抽出することで有効な目標設定に繋がることが期待できます。

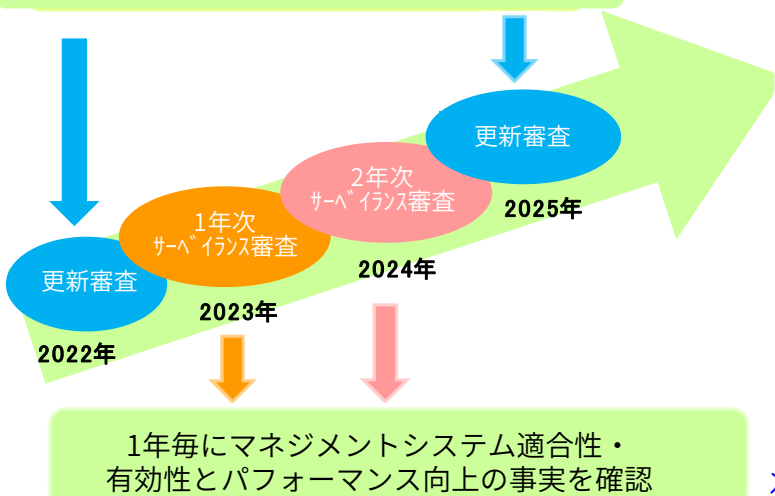
## 5.3組織の役割、責任及び権限

「環境マネジメントシステムの役割・責任及び権限表」に記載されている法定選任者の位置付けが「環境マネジメント組織図」には記載されていません。全社における環境マネジメント組織図を「環境マネジメントシステムの役割・責任及び権限表」と同様にまとめられることによって全社の環境マネジメントシステム体制の充実が期待されます。

## 8.1運用の計画及び管理

蒸気ボイラー管理標準で自主的な判断基準(1.25～1.7)に基づいて運用管理されていますが、貫流ボイラーの実空気比が1.66であり、自主的な判断基準の上限に近づいています。基準空気比の範囲内で燃焼管理することによって省エネの有効性の向上が期待できます。

3年毎に更新審査を受審しています。



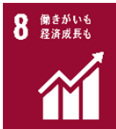
次の更新審査は、2025年です。

## Check

※環境マネジメントシステムとは

事業者が経営方針の中に環境に関する方針や目標などを設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といい、環境マネジメントを進めるための事業所内の体制・手続き等の仕組みのことをいう。

## 従業員への教育取り組み



従業員が、事業活動における環境負荷低減活動を実施するためには、従業員一人ひとりの環境意識と知識の向上が必要です。そのために、一般的な環境教育や、薬液や高圧ガスの取り扱いなどの専門教育、様々な緊急事態を想定した訓練を実施しています。

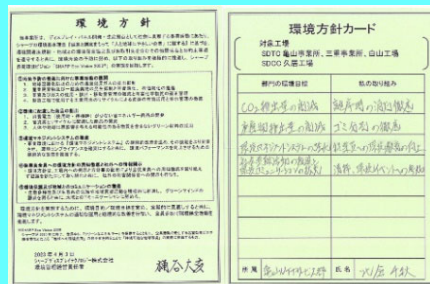
## 2022年度の主な教育の内容

種類	対象者	主な実施内容	
一般教育	環境一般教育	全従業員	環境マネジメントシステム（環境方針、環境目的・目標、環境マニュアル） 環境問題等
	省エネルギー管理	全従業員	居室等の空調設定、照明の消灯等の徹底
	再資源化/廃棄物管理	全従業員	リサイクル/リユースの徹底（廃棄物の分別徹底）
	環境マインド講座	環境システム推進委員	近年の環境問題や身近にできるエコ活動の紹介
専門教育	薬液取扱教育	薬液取扱者	薬液の取り扱い・危険性・緊急時に関する基本教育
	高圧ガス取扱教育	高圧ガス取扱者	高圧ガスの取り扱い・危険性・緊急時に関する基本教育
	内部環境監査員の養成	責任者が必要と認めた者	内部環境監査員の養成・強化
	環境施設の基礎教育	責任者が必要と認めた者	水処理設備・エネルギー供給設備・ガス供給設備等の教育

## 従業員への一般教育

## 環境方針カードでの周知徹底

全従業員に環境方針カードを配布し、環境方針の周知徹底と部門の環境目標および各自の取り組みを記入することで、環境意識の向上を図っています。

環境方針カード  
(両面)

## 環境マメ知識での教育

環境マメ知識では、近年の環境問題や課題、取り組みなどを取り上げ、環境システム推進委員会で委員に教育を実施しています。

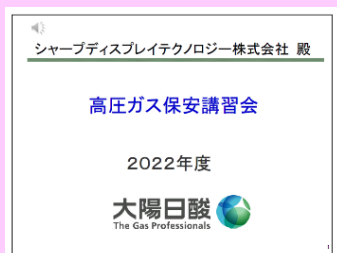
※2か月に1回発行



環境マメ知識（一例）

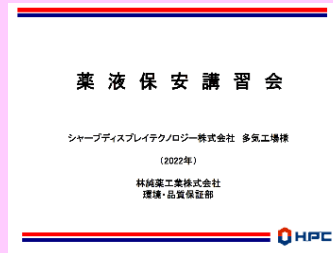
## 専門教育会の実施

毎年、薬液やガスなどを取り扱う業務従事者を対象に、外部から講師をお迎えし薬液取扱教育会及び高圧ガス取扱教育会を開催していますが、新型コロナウイルス予防対策で、2022年度も動画配信で教育を実施しました。



## ◎高圧ガス保安講習会

実施期間：2022年12月9日～2023年3月31日  
受講者数：353名



## ◎薬液保安講習会

実施期間：2023年1月13日～2023年3月31日  
受講者数：922名



## 緊急事態対応訓練による汚染防止の取り組み

種類	対象者	主な実施内容
防災訓練(地震+火災)	全従業員	地震やガス漏れにより、火災が発生したことを想定した対応訓練
普通救命講習会	全従業員	急病やケガ人への救命処置の訓練
薬液漏洩対応訓練	薬液取扱者	有害な薬液が工場内で漏れた事故を想定した訓練
ガス漏洩対応訓練	ガス取扱者	有害なガスが工場内で漏れた事故を想定した訓練
停電対応訓練	生産部門 環境部門	震度5以上の地震で停電が発生したことを想定した訓練
放流水質異常対応訓練	環境部門	放流水質が基準値を逸脱したことを想定した放流防止対応訓練

## ■地震、停電時対応訓練

地震及び停電が発生した時、必要な情報を確実に取得し、迅速な対応がとれるように訓練しています。



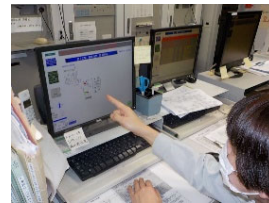
放送訓練



状況確認

## ■スクラバー排気異常対応訓練

有機・酸スクラバー異常停止が発生した時、未処理ガスの放出による環境への影響を防止するため、訓練しています。



監視画面確認



吸い込みV D操作

## ■雨水水質異常時対応訓練

事業所外へ排水される雨水側溝に水質異常が見られた場合、早急に遮断ゲートの閉止及び異常水を回収する訓練をしています。

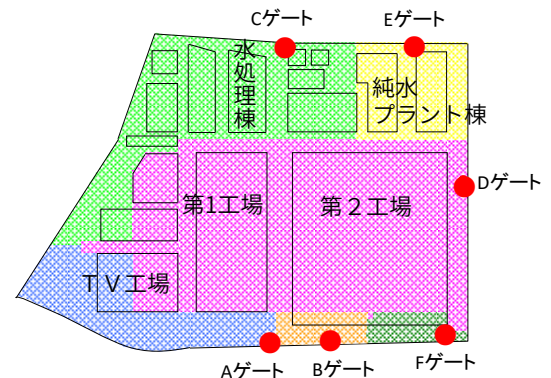


水質異常確認



流入水水質確認

雨水遮断ゲート位置 (全6か所)



## 取引業者様との薬液廃液漏洩対応合同訓練

第2工場の薬液供給・回収エリアにおいて、廃液回収時に液漏れしたことを想定し、流出を防止する訓練を実施しました。取引業者様と合同で実施することにより、手順及び認識を共有でき、迅速且つ的確に対応がとれるように訓練しています。



訓練の流れと手順書の確認



漏洩した廃液の回収



訓練後の意見交換



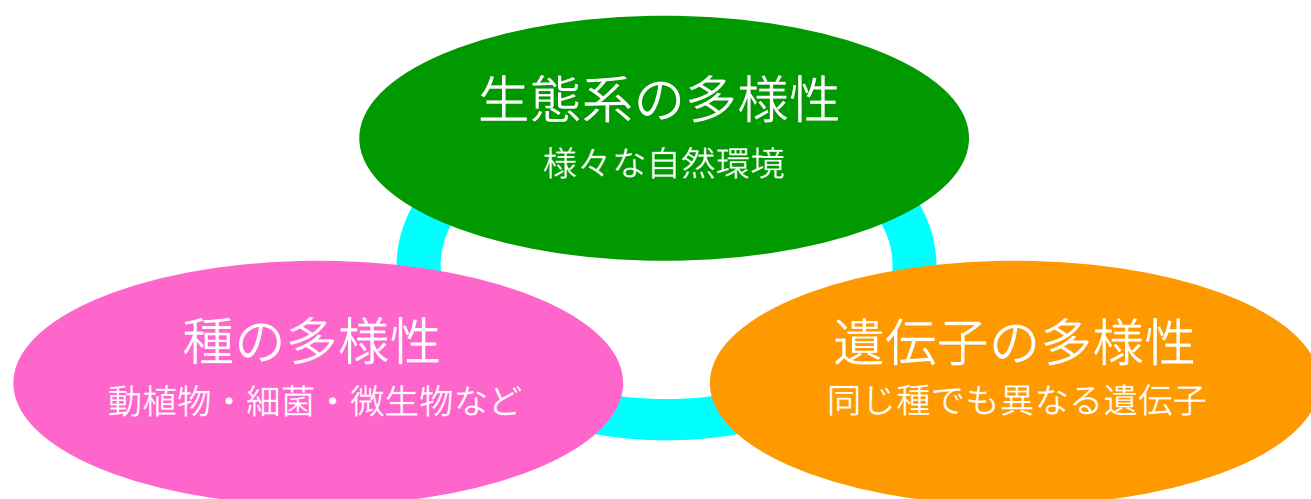
## 生物多様性の保全取り組み



2009年度に「シャープグループ生物多様性の保全と持続可能な利用を巡る方針」に基づく取り組み指針として「シャープ生物多様性イニシアチブ」を策定しました。このイニシアチブでは、生物多様性について分かり易く解説するとともに「事業活動を通じた取り組み」と「社会貢献活動での取り組み」の両面から具体的な推進施策をまとめています。その指針のもと生物多様性の保全活動に取り組んでいます。

## 生物多様性とは？

たくさんの種類の生物が、お互いに影響し合いながら生態系のバランスを維持して、生きていることを生物多様性といいます。この生物多様性により豊かな地球環境が保たれています。近年、地球環境の悪化に伴って生物種の絶滅速度が増しており、生態系への影響が懸念されています。



## 生態系サービス

多様な生物に支えられた生態系は人類にとっても多大な利益をもたらしており、『生態系サービス』といわれています。

## 供給サービス

食糧、水、原材料、  
遺伝資源、薬用資源

## 調整サービス

気候調整、水量調整、  
水質浄化、疾病制御

## 文化的サービス

レクリエーション、  
文化、芸術、教育

## 基盤サービス

光合成、土壌形成、栄養循環  
(供給サービス・調整サービス・文化的サービスを支えるサービス)



## シャープグループの生物多様性保全取り組み領域



※労使合同で運営するボランティア団体

さまざまな場面で生物多様性に影響を与え、またその恩恵を受けていることから、事業活動全般を通じて、生物多様性の保全と持続可能な利用に留意する必要があると考えています。

## ビオトープの整備

2010年度から事業所敷地内に豊かな生態系を再現する緑地（ビオトープ）の整備を進めており、周辺地域の自然環境に近い緑地を再現することで、多様な動植物が生育できる環境に近づいていると感じています。また、従業員の憩いの場としても活用しています。

整備活動  
(草刈り・選定)ビオトープ見学会  
(毎年10月頃)

地域の方々や全ての利害関係者に環境取り組みをご理解いただくため、地域主催の環境イベントに積極的に参加し、環境活動の紹介や関連情報を交換しております。また、地元を対象とした環境教育や工場見学、子供たちの環境マインド育成を目的とした環境出前授業を実施するなど社会貢献活動や環境学習、地域とのコミュニケーションに努めています。

2022年度の目標		2022年度の実績		評価
環境情報の開示	65件以上	環境情報の開示	77件	達成
社会貢献活動の実施	28件以上	社会貢献活動の実施	37件	

### 地域の学校への環境出前授業

毎年、亀山市内の中学校(3校)へ出向き、『環境出前授業』を実施しています。授業ではごみの分別やリサイクル、地球温暖化防止などの環境関連の講義のほか、皆さんに楽しく学んでもらえるようリサイクル工場の分別の仕組みを器具を使って実際に体験していただいたり、手回し発電の実験など取り入れています。出前授業を通じて環境問題に少しでも関心を持つきっかけになればと思います。



### 「みえ環境フェア2022」への参加

例年 三重県地域温暖化防止活動推進センター主催の「みえ環境フェア」に三重事業所と合同で参加しており、2022年度も参加しました(2022年12月11日)。来場者が楽しみながら環境問題に関心を深めてもらえるよう、事業所内に生えている葛(くず)を利用したクリスマスリース作り体験を準備し、木の実等で飾り付けをして楽しんでいただきました。





その他環境イベント・地域の清掃活動への参加

地域の清掃活動に企業として積極的に参加し、コミュニケーションを図っています。

鼓ヶ浦海岸清掃 (2022年5月28日)



鈴亀会主催「次世代へきれいな海岸を残す」がテーマの地域清掃活動に参加し、鈴鹿市の鼓ヶ浦海岸のゴミ拾いを行いました。



北部工業団地清掃 (2022年10月19日) ※白山工場

北部工業団地主催の周辺地域清掃活動に参加し、周辺のゴミ拾いを行いました。



コミュニケーションツール

どのような環境保全活動を行っているかを地域の方々やステークホルダーに知っていただくため、『環境取り組みのご紹介』を2004年から毎年発行しています。今後も皆様からのご要望を取り入れながら内容の充実を図ってまいります。

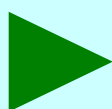


## 環境法規制順守の取り組み

環境法規制の順守は、事業活動をするうえで、企業にとって必要最低限の条件だと考えています。そのため、監査体制を構築し、順守状況を確認しています。また、法改正情報を漏れなく入手し対応することが不可欠であるため、情報確認体制の強化に取り組んでいます。

## 2022年度の環境法規制順守状況

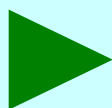
環境保全協定の  
順守状況



全て  
自主基準値以下

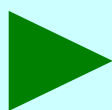
(詳細は25・26ページを確認下さい。)

改正法令の対応



漏れなく全て対応

お取引先の法令  
順守状況



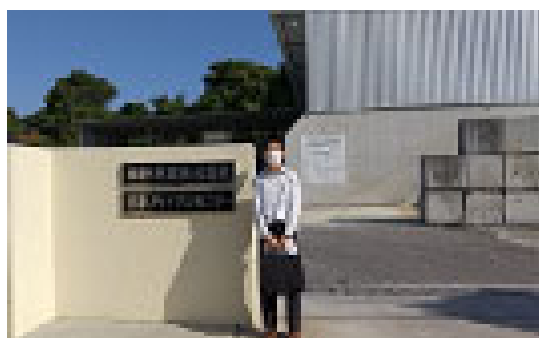
漏れなく全て対応  
廃棄物委託業者 (15社)

## お取引先の法令順守状況を確認

お取引先様に対しても、定期的に環境法規制の順守状況を確認しています。産業廃棄物の処理等を委託している業者を訪問し、処分を依頼した産業廃棄物が適正に処理されているかの確認（現地確認※）を実施しています。

※廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）の努力義務

## 2022年度 現地確認



計画：15社



実績：15社

全社問題なし



# 環境法規制順守の取り組み

## 亀山市との環境保全協定順守のための取り組み

地域の生活環境の保全と豊かな自然環境を守るため、亀山市との間に『環境保全協定』を締結しています。大気・水質・騒音/振動・悪臭※の項目で、法律より厳しい排出基準を順守することを約束しており、それを守るために更に厳しい自主基準値を設定し、対策を行ない環境負荷低減に努めています。

2022年度は全ての項目で自主基準値以下でした。

※大気・水質・騒音/振動・悪臭の排出基準と2022年度の実績はP25～26で紹介しています。

## 環境法規制違反を防ぐための取り組み

生産工程等で多量の化学物質を使用しています。工程で使用された化学物質は産業廃棄物として引き取りされるものと、工程で使用した際の蒸発分を工場屋上に設置している除害装置で浄化しきれいな空気として放出されるものがあります。これらが正常な基準で運用されているか常に監視し、環境汚染予防対策に努めています。

### ◆河川や大気を汚染しないように常時監視

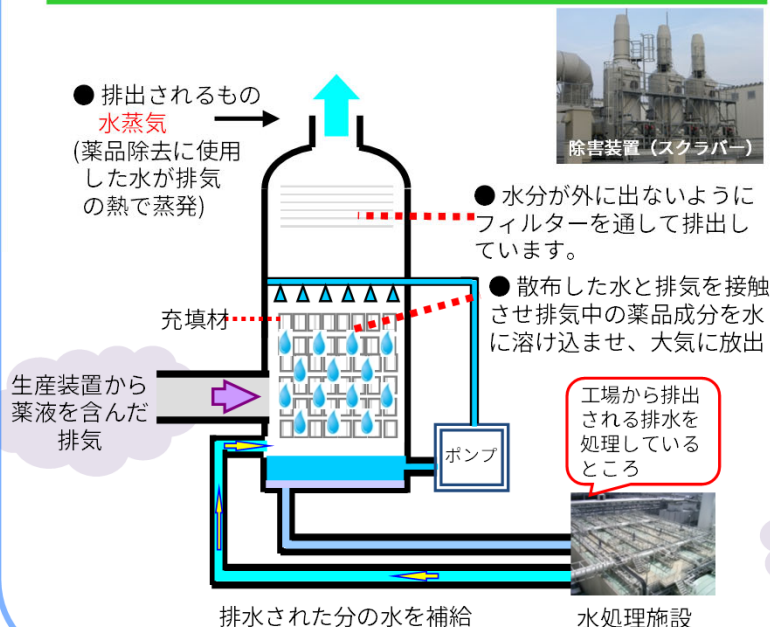


大気・水質の監視

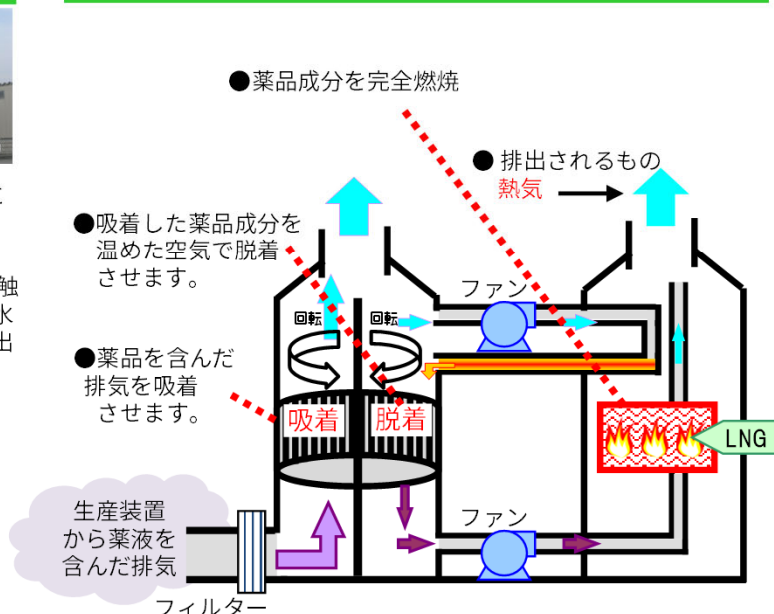
- ① モニターによる監視  
⇒自主基準値を超えない管理をしています。
- ② NOxの測定・巡視  
⇒専門業者による測定は年2回実施。  
脱硝装置巡視は毎日点検を実施。
- ③ 放流水の点検  
⇒常時監視を行ない、毎月1回放流水の測定結果を亀山市へ報告しています。

### ◆排ガス処理設備を導入

酸・アルカリの薬品（水溶性）を含んだ排気の処理  
（薬品成分を水等に吸収させて除去）



有機溶剤を含んだ排気の処理方法  
（薬品成分を燃焼して除去）



## 環境法規制順守データ

事業活動に伴う公害の未然防止により、周辺住民の健康と福祉の向上のため、生活環境の保全と豊かな自然環境の継続を図ることを目的として、亀山市との間で『環境保全協定』を締結しています。環境保全協定では、法律より厳しい協定値を順守することを求められており、それを達成するために、協定値より更に厳しい自主基準値を定め環境法規制を順守しています。

## 亀山事業所

## 大気汚染の防止（1回／6ヶ月測定）

基準値以下

項目	単位	規制値			2022年度実績 (最大値)
		法定値	協定値	自主基準値	
ばいじん (ガス機関)	g/Nm <sup>3</sup>	0.1以下	0.05以下	0.04以下	0.03未満
窒素酸化物 NO <sub>x</sub> (ガス機関)	ppm	600以下	180以下	170以下	59
硫黄酸化物 SO <sub>x</sub> (ガス機関)	Nm <sup>3</sup> /h	23.5以下	0.11以下	0.09以下	0.034
揮発性有機化合物(VOC)	ppmC	400以下	-	200以下	8



## 水質汚濁の防止（1回／1ヶ月測定）

基準値以下

項目	単位	規制値			2022年度実績 (最大値)
		法定値	協定値	自主基準値	
水素イオン濃度(pH)	-	5.8～8.6	5.8～8.6	6.0～8.4	7.4～7.9
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	160以下	10以下	8以下	0.5 未満
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	160以下	10以下	8以下	1.8
浮遊物質(SS)	mg/l	200以下	10以下	8以下	1 未満
N-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	mg/l	5以下	1以下	0.8以下	0.5 未満
大腸菌群数	個/cm <sup>3</sup>	3,000以下	3,000以下	2,400以下	17
全窒素	mg/l	120以下	10以下	8以下	2.10
全リン	mg/l	16以下	1以下	0.8以下	0.006
フッ素及びその化合物	mg/l	8以下	0.8以下	0.64以下	0.47

- 環境方針に基づいた取り組み -  
環境法規制順守データ

騒音・振動の防止 (1回/年測定)

基準値以下

項目	単位	規制値			2022年度実績 (最大値)	
		法定値	協定値	自主基準値		
騒音	昼間	dB	70以下	60以下	60以下	51
	朝	dB	65以下	55以下	55以下	49
	夕	dB	65以下	55以下	55以下	49
	夜間	dB	60以下	50以下	50以下	49
振動	昼間	dB	65以下	65以下	55以下	40
	夜間	dB	60以下	60以下	50以下	40

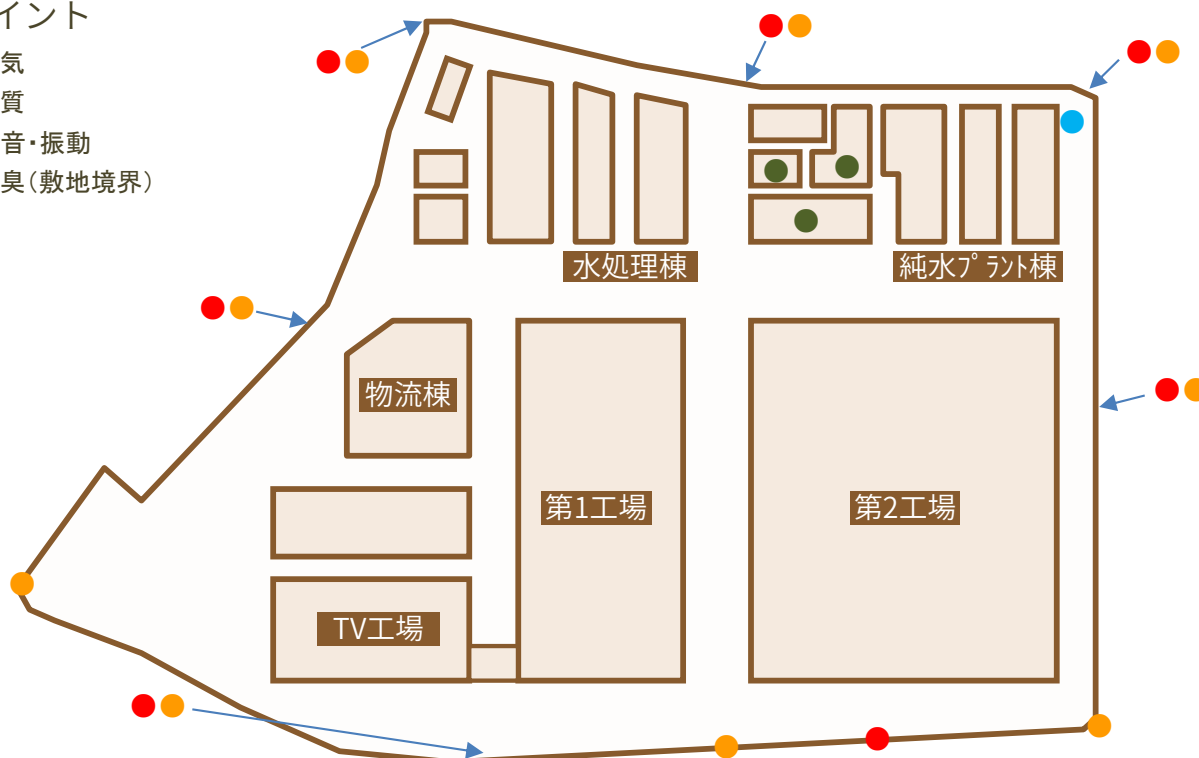
悪臭の防止 (1回/年測定)

基準値以下

項目	単位	規制値			2022年度実績 (最大値)
		法定値	協定値	自主基準値	
アンモニア (敷地境界)	ppm	-	1以下	0.5以下	0.1未満
メチルメルカプタン (敷地境界)	ppm	-	0.002以下	0.001以下	0.0002未満
硫化メチル (敷地境界)	ppm	-	0.01以下	0.005以下	0.001未満
アンモニア (気体排出施設)	m3/h	-	199以下	99.5以下	0.03未満
メチルメルカプタン (水質)	mg/l	-	0.007以下	0.0035以下	0.0005未満
硫化メチル (水質)	mg/l	-	0.07以下	0.035以下	0.0003未満

測定ポイント

- 大気
- 水質
- 騒音・振動
- 悪臭 (敷地境界)



# 環境法規制順守データ

白山工場は霊峰白山、手取川、日本海などに囲まれた自然豊かな環境にあります。事業活動に伴う公害の防止、生活環境の保全を目的として、白山市との間で『公害防止等に関する協定書』を締結しています。協定では、法令、石川県条例及び市条例を順守することを求められており、定期的に測定し環境法規制を順守しています。

## 白山工場

### 大気汚染の防止（2回／年測定）

基準値以下

項目	単位	規制基準	2022年度実績 (最大値)
ばいじん (ボイラー煙道)	g/m <sup>3</sup>	0.1以下	0.0062未満
窒素酸化物 NOx (ボイラー煙道)	volppm	150以下	46
硫黄酸化物 SOx (ボイラー煙道)	m <sup>3</sup> /h	2.59以下	0.01未満
揮発性有機化合物(VOC) (1回/年測定)	ppmC	400以下	15

※ばいじん、窒素酸化物濃度は、O<sub>2</sub> 5 vol%換算値  
燃料：LNG

### 水質汚濁の防止（2回／年測定）

基準値以下

項目	単位	規制基準	2022年度実績 (最大値)
水素イオン濃度(pH)	-	5.8～8.6	7.1
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/l	日平均60以下	0.5未満
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	日平均120以下	3.5
浮遊物質(SS)	mg/l	日平均80以下	9.5
N-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	mg/l	5以下	0.5未満
大腸菌群数	個/ml	3,000以下	0
窒素含有量	mg/l	日平均60以下	25
リン含有量	mg/l	日平均8以下	0.1
フッ素及びその化合物	mg/l	8以下	0.67



# - 環境方針に基づいた取り組み -

## 環境法規制順守データ

### 騒音・振動の防止（1回／年測定）

基準値以下

項目		単位	基準	2022年度実績 (最大値)
騒音	朝 (6:00～8:00)	dB	65以下	57
	昼間 (8:00～19:00)	dB	70以下	60
	夕 (19:00～22:00)	dB	65以下	60
	夜間 (22:00～6:00)	dB	60以下	56
振動	昼間 (8:00～19:00)	dB	65以下	35
	夜間 (19:00～8:00)	dB	60以下	30

※白山工場は騒音及び振動について指定地域外のため、騒音は石川県特定工場等の規制基準第4種区域、振動は石川県特定工場等の規制基準第2種区域を基準値とする

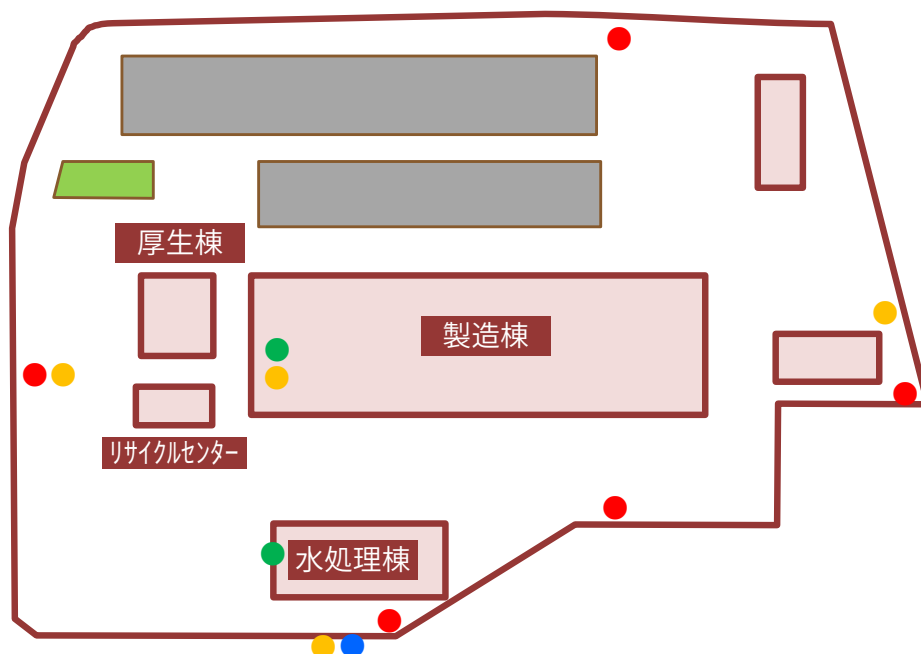
### 悪臭の防止（1回／年測定）

基準値以下

項目	単位	規制基準	2022年度実績 (最大値)
アンモニア (敷地境界)	volppm	2以下	0.1未満
メチルメルカプタン (敷地境界)	volppm	0.004以下	0.0002未満
硫化メチル (敷地境界)	volppm	0.05以下	0.0005未満
アンモニア (気体排出施設)	m <sup>3</sup> N/h	757以下	0.03未満
メチルメルカプタン (放流水)	mg/l	0.003以下	0.001未満
硫化メチル (放流水)	mg/l	0.07以下	0.01未満

### 測定ポイント

- 騒音/振動
- 大気
- 水質
- 悪臭



## 亀山市長からのメッセージ

私たちの業活動を推進することができるのは、亀山市によるご支援と、地域の皆様のご理解があってのことです。日頃お世話になっております亀山市長からメッセージをいただいておりますのでご紹介いたします。

### カーボンニュートラルへの貢献を目指して

シャープディスプレイテクノロジー株式会社におかれましては、2004年（平成16年）に本市に進出以来、液晶のリーディングカンパニーとして新たな時代を切り拓くとともに、市内中学校での環境出前講座の継続的な実施、清掃活動への参加による地域とのコミュニケーション、ビオトープにおける地域の希少淡水魚類の保護など高い環境意識を持って、地域社会に多大なご貢献をいただいております。また、貴社の環境経営理念として「誠意と創意をもって『人と地球にやさしい企業』に徹する」のもと長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」として、「2050年までに自社活動のGHG（温室効果ガス）排出量ネットゼロ」を掲げ、持続可能な地球環境の実現を目指されておられますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、国において、本年3月に生物多様性国家戦略が閣議決定され、2030年までに陸域と海域それぞれ30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標が掲げられ、保全されている区域を認定する制度「自然共生サイト」が4月から開始されました。

本市も国の目標に貢献すべく、市独自の亀山版OECM認定制度「かめやま生物多様性共生区域認定制度」を創設し、本年7月から募集を開始し、単に生物多様性を保全するのみならず、地域で主体的に活動する人材を育成するとともに、地域の経済活動を活性化させることを目指してまいります。また、ゼロカーボンシティの実現に向け、本年7月に気候非常事態を宣言し、「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指すとともに、生物多様性の保全、4Rの推進に取り組み、環境と産業が調和した持続可能なまちづくりを進めています。さらには、第2次亀山市環境基本計画の具現化に向け、その推進方策の検討等を行う「亀山市環境未来創造会議低炭素部会」には、貴社からのご参画を賜り、カーボンニュートラル社会の実現に向け、ともに歩みを進めているところでございます。

企業と行政では立場は異なりますが、持続可能な社会の実現という共通の未来へ向けて一層の協働のもと、貴社とともに歩みを進めていきたいと存じます。

結びに、貴社の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



亀山市長  
櫻井 義之 様



# 亀山市のご紹介

## 東海道関宿

東海道五十三次の47番目の宿場町として栄え、江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町家が今も200棟以上現存し、当時の雰囲気が残されています。東西追分の間約1.8kmにもおよぶその古き良き街並みは、旧東海道の宿場町の中で唯一歴史的な町並みを残していることから「国の重要伝統的建造物群保存地区(昭和59年)」や「日本の道百選(昭和61年)」にも選定されています。

## 亀山市

三重県の内陸部に位置する亀山市は、市の面積の半分以上が森林ととても自然豊かなまちです。一方で工業団地があることから製造業が活発であり、ローソクや亀山茶などの名物もあり、また東海道関宿や亀山城などの歴史を感じることができる名所があるのも特徴です。

古くから東海道の交通の要所として栄えた地域であり、近隣都市だけではなく名古屋・京都・大阪などの大都市へのアクセスも良いことから利便性も高く、魅力満載です。



### 亀山みそ焼きうどん

町おこしのために企画されたご当地グルメで、2011年に開催されたB-1クランプリ中日本・東海支部大会で一位に選ばれました。

### 石水溪

鈴鹿川の支流、安楽川の源流で市内随一の景勝地です。キャンプ場としても人気があり、夏には県外からも多くのレジャー客が訪れます。

### 亀山城

多門櫓(たもんやぐら)が県内に唯一現存する城郭造物として県史跡及び県有形文化財(建造物)指定されています。春は桜の名所としても有名です。



# 事業所マップ

## シャープディスプレイテクノロジー株式会社 亀山事業所

◎ 自然環境に配慮した設備を導入し、24時間体制で運用管理をしています

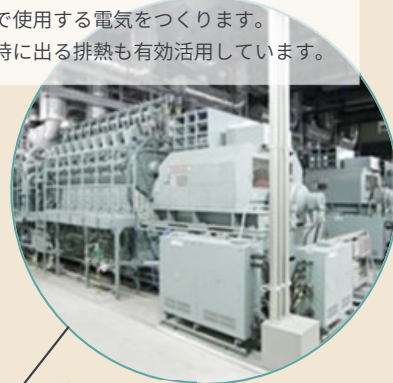
### 防音壁

騒音対策として、大きな音を出す装置の周りを囲っています。



### コージェネレーションシステム

工場で使用する電気をつくります。その時に出る排熱も有効活用しています。



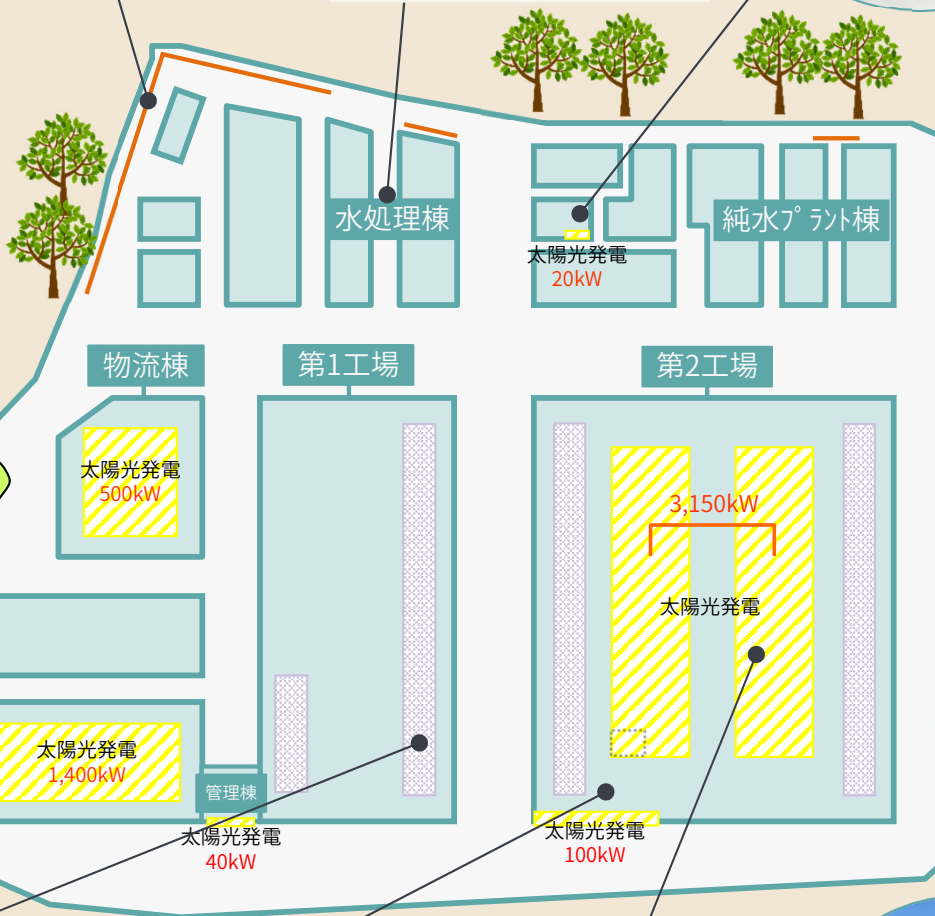
### 水処理施設

工場で使用した水から不純物を取り除き、100%再利用しています。



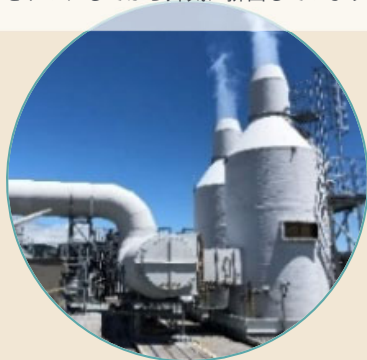
### ビオトープ

事業所内に作った池や川で、たくさんの生き物や植物が生息しています。



### 排ガス浄化設備

排出ガスから有害な物質を除去し、きれいにしてから外気に排出しています。



### 太陽光パネル

工場の屋上や壁面に設置し、自然のエネルギーを有効利用しています。



### 環境見学コーナー

賞の数々や、事業所内で発見した昆虫や植物の写真を展示しています。



### フロート型太陽電池

水に浮かべることができる太陽光パネルを池に浮かべ、発電をしています。



## シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社 白山工場

## 排ガス浄化設備

排出ガスから有害な物質を除去し、きれいにしてから外気に排出しています。

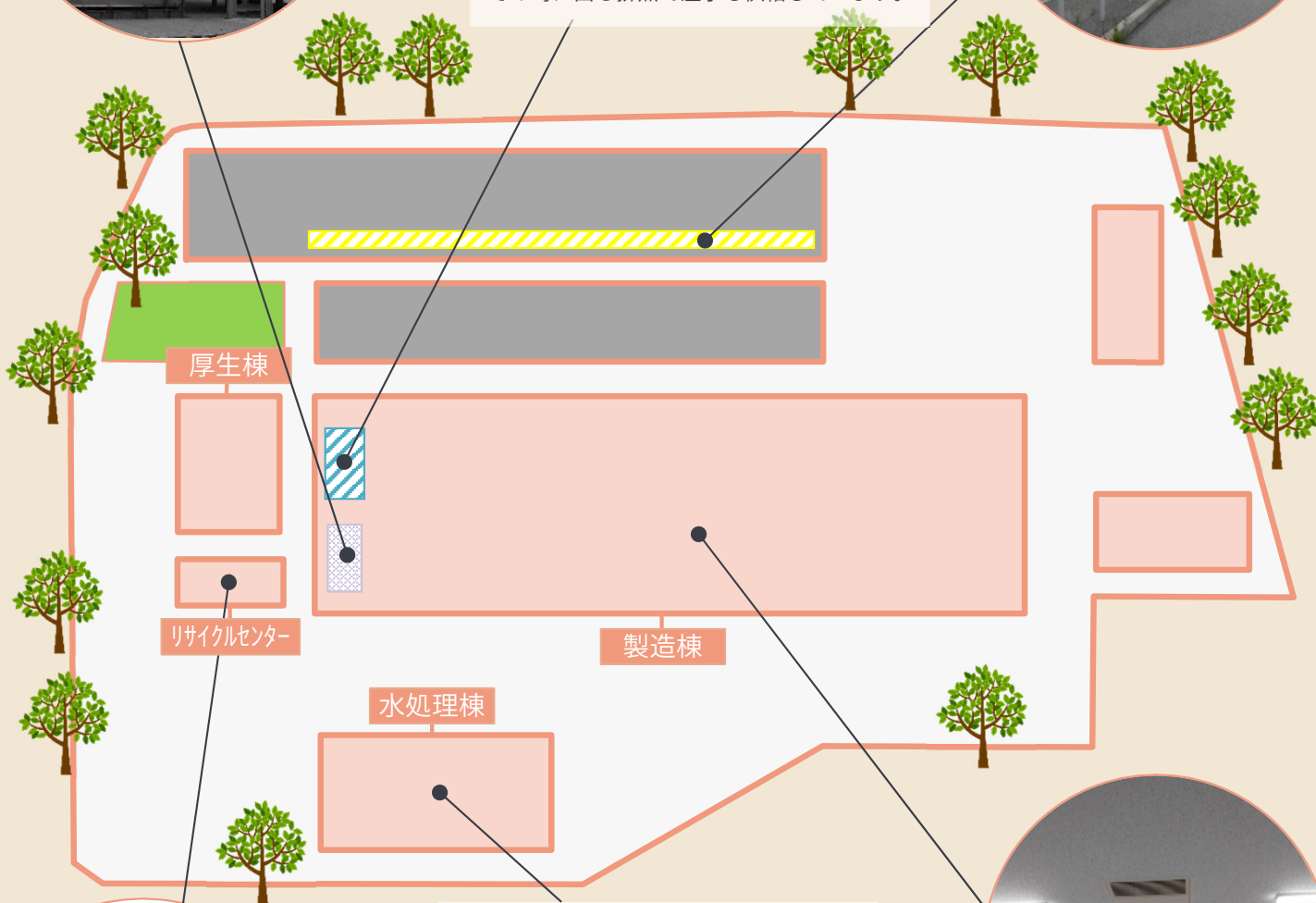


## ターボ冷凍機

工場で使用する冷水をつくります。その時に出る排熱で温水も供給しています。

## ソーラー風力発電LED外灯

駐車場の外灯にソーラー・風力で発電するLED外灯を設置しています。



厚生棟

リサイクルセンター

製造棟

水処理棟

## 水処理施設

工場で使用した水から不純物を取り除き、放流できる水質まで浄化しています。



## リサイクルセンター

工場で排出されるごみを集積し、有価物・廃棄物に分別しています。



## LED照明

事務室・生産工程等で使用されている照明は一部を除きLED照明が採用されています。



## 2022年度の使用量（インプット）と排出量（アウトプット）の結果

環境に影響を与える環境負荷物質の使用量と排出量を把握し、低減に努めています。

## 【亀山事業所】

		単位	2020年度	2021年度	2022年度
インプット	エネルギー分類 使用量	購入電力 (自家発電電力除く)	MWh 614,038 一般家庭約20.6万世帯	646,724 一般家庭約21.7万世帯	614,506 一般家庭約20.7万世帯
		自家発電電力量	MWh 242,007 一般家庭約8.1万世帯	203,914 一般家庭約6.9万世帯	205,862 一般家庭約6.9万世帯
		都市ガス	千Nm <sup>3</sup> 60,950 一般家庭約16万世帯	52,667 一般家庭約14万世帯	53,433 一般家庭約14万世帯
		蒸気	GJ 129,472	118,800	118,174
		温水	GJ 133,197	130,323	131,408
		冷水	GJ 1,713,767	1,678,109	1,661,367
	新エネルギー	太陽光発電量	MWh 4,118 一般家庭約1,385世帯	3,729 一般家庭約1,385世帯	4,003 一般家庭約1,346世帯
	水資源分類 使用量	上水（市水）	千m <sup>3</sup> 27 年間で使う水約270人	26 年間で使う水約260人	26 年間で使う水約260人
		工業用水（工水）	千m <sup>3</sup> 1,596 年間で使う水約16,152人	1,405 年間で使う水約14,220人	1,234 年間で使う水約12,500人
	化学物質購入量		トン 22,718 ドラム缶 約11.4万本	23,901 ドラム缶 約11.9万本	20,744 ドラム缶 約10.4万本
アウトプット	CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> 373,343 一般家庭約7.2万世帯	372,475 一般家庭約7.2万世帯	359,411 一般家庭約6.9万世帯	
	廃棄物総排出量	トン 45,029 亀山市の一般家庭約2.3年分	45,310 亀山市の一般家庭約2.3年分	41,459 亀山市の一般家庭約2.1年分	
	P R T R対象物質 大気排出量	トン 0.44 ドラム缶 2.2本	0.44 ドラム缶 2.2本	0.83 ドラム缶 4.1本	
	放流量	千m <sup>3</sup> 442 約4,492人分	448 約4,552人分	414 約4,207人分	

※電気事業連合会の1世帯あたりの電力消費量推移の2015年度使用量を使用(247.8kwh/月)

※東京ガスの1世帯あたりの都市ガス使用量を使用(32m<sup>3</sup>/月) ※東京水道局の世帯人員別の1ヵ月あたりの平均使用水量を使用(8.2m<sup>3</sup>/人)

## 省エネ工場

## 太陽光発電システム

太陽光発電は、光エネルギーから直接電気を作る太陽電池を利用した発電システムです。発電時には二酸化炭素を出さないため環境にも優しく、当事業所では7か所設置しております。



正面玄関の太陽光発電システム



調整池に浮かべているフロート式太陽光発電システム



工場の屋上に設置している太陽光発電システム

# 亀山事業所のあゆみ

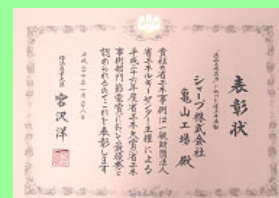
2002年	2月	建設計画を発表
	4月	立地協定締結
	9月	起工式
2004年	1月	操業開始
	4月	竣工披露式
	10月	ISO14001認証取得
	12月	第1回日経ものづくり大賞
2005年	6月	第3回日本環境経営大賞（環境経営パール大賞）
	7月	第2工場建設開始
	8月	第1回ものづくり日本大賞（経済産業大臣賞）
2006年	5月	第8回日本水大賞（経済産業大臣賞）
		第4回日本コージェネレーションセンター賞（省エネルギー奨励賞）
	8月	第2工場稼働
2007年	12月	地球温暖化防止活動環境大臣賞
2008年	5月	かめやま会故（エコ）の森活動開始
2009年	6月	新エネ百選選出
2012年		第1工場小型液晶工場稼働・第2工場中／小型液晶ラインに併設
	10月	3R推進協議会会長賞
2014年	3月	環境コミュニケーション大賞 奨励賞
2015年	1月	省エネ大賞 経済産業大臣賞（節電賞）
	2月	環境コミュニケーション大賞 優良賞
	12月	みえ環境大賞（環境経営部門）
2016年	2月	環境コミュニケーション大賞 優良賞
2019年	1月	省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞（省エネ事例部門）
2020年	10月	シャープディスプレイテクノロジー株式会社が発足



日本環境経営大賞



日本水大賞

地球温暖化防止  
活動環境大臣賞省エネ大賞  
(経済産業大臣賞)  
(省エネルギーセンター会長賞)

## 編集担当者から一言

このたびは本冊子を手にとってくださいありがとうございます。  
私たちは近年深刻化している気候変動やプラスチックゴミなどの環境問題において、省エネや廃棄物排出量の削減、そして環境法順守など積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

2020年度から3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域社会への貢献活動が思うようにできなかったこともありました、できる範囲で最善を尽くしました。

これからも社員一丸となって取り組んでまいります。



亀山UTTサービス部 編集担当

**SHARP**

Be Original.

シャープディスプレイテクノロジー株式会社《亀山事業所》

経営管理本部

人事総務統轄部

亀山UTTサービス部

〒519-0198

三重県亀山市白木町幸川464番

TEL 0595-84-6132